

## トマト種子抽出液

本品は、ナス科 トマト *Lycopersicon esculentum* Miller (= *Solanum lycopersicum* Linne) (*Solanaceae*) の種子の脱脂物から1,3-ブチレングリコール水溶液で抽出して得られるエキスである。

### 製造方法

トマト *Lycopersicon esculentum* Miller (= *Solanum lycopersicum* Linne) (*Solanaceae*) の種子にエタノール溶液を加え抽出し、得られたろ液中に含まれる油脂成分を*n*-ヘキサン(JIS K8848)で油脂分を抽出し、*n*-ヘキサンおよびエタノールを留去し、ろ液を蒸発乾固する。得られた固形物に1,3-ブチレングリコール水溶液を加え溶解しその後、製品とする。

原料 トマト種子 100kg → 製品 400~500kg

### 性状

本品は、淡黄色～淡黄褐色の液体で、わずかに特異なおいがある。

### 確認試験

- ・ サポニン

本品 0.3mL に無水酢酸 5mL を加え振り混ぜ、2 分間放置した後、硫酸 1mL を試験管の壁に沿って穏やかに加えるとき、両液の接界面は、赤褐色を呈する。

- ・ 糖

本品 1mL をとり、 $\alpha$ -ナフトールのエタノール溶液(1→20) 2~3 滴を加えてよく混和する。次に硫酸 1~2mL を試験管の壁に沿って穏やかに加えるとき、両液の接界面は、赤紫色を呈する。

### 純度試験

- ・ 重金属

本品 1.0gをとり、第 2 法により操作し、試験を行うとき、その限度は、20 ppm 以下である。ただし、比較液には、鉛標準液 1.0mL をとる。

- ・ ヒ素

本品 1.0gをとり、第 3 法により試料溶液を調製し、試験を行うとき、その限度は、2 ppm 以下である。

### 一般生菌数

衛生試験法 細菌一般試験法に従い、標準寒天培地を用い、試料原液を希釈液で 10 倍希釈し試験を行うとき、一般生菌数は  $1 \times 10^2$  個/g 以下である。

### カビ・酵母

衛生試験法 真菌一般試験法に従い、クロラムフェニコール添加ポテトデキストロース寒天培地を用い、試料原液を希釈液で 10 倍希釈し試験を行うとき、真菌数は  $1 \times 10^2$  個/g 以下である。

## 大腸菌群

衛生試験法 汚染指標細菌試験法大腸菌群に従い、BGLB 培地を用い、上記一般生菌数で使用した 10 倍希釈液 1mL を試料溶液とし試験を行うとき、大腸菌群は陰性である。

この規格及び試験方法において、別に規定するものの他は、外原規 通則及び一般試験法を準用するものとする。

製品名：トマト種子エキス-LC 製造業者：オリザ油化株式会社 愛知県一宮市北方町沼田 1
--

発行日：2019 年 10 月 19 日

改定日：2020 年 2 月 20 日